

特集

図や表で見る市の財政

一般会計

一般会計は、市税などの自主財源と、地方財政の均衡を図る目的で、その財源保障として国から交付される地方交付税などの依存財源で運営され、福祉や都市基盤整備、教育など、暮らしを支える基本的な行政サービスに使われています。

市の25年度の決算は、歳入総額が851億6,388万円、歳出総額が836億3,353万円で、残りの15億3,035万円は26年度に繰り越しました。

歳出については、性質別と目的別の2つのグラフで表しています。性質別は歳出をその性質によって分類したもので、支出が義務付けられている扶助費、人件費、公債費は義務的経費と呼ばれます。また、建設工事など行政水準の向上に直接関係するものは投資的経費とされ、このような分類をすることで、市全体での経費の構造を知ることができます。しかし、性質別では仕事の内容までは分かりません。そこで、目的別では歳出を仕事の内容(目的)によって分類し、各部局ごとの経費の比重を見ています。

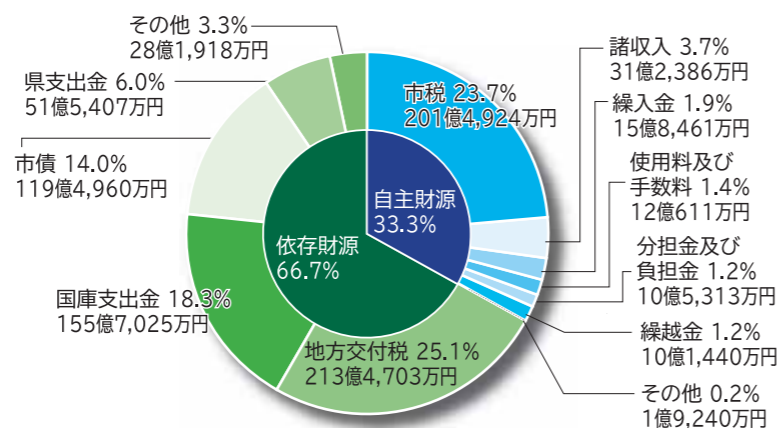
弘前市の会計は、その性格により一般会計、特別会計、企業会計の3つに分けられます。

「一般会計」は基本的な行政サービスに使われるもので、市のお金の流れの中心となるものです。また、「特別会計」は特定の収入がある事業を行う場合に、一般会計とは分けて経理されるもので、「企業会計」は企業として独立した事業に関するものです。

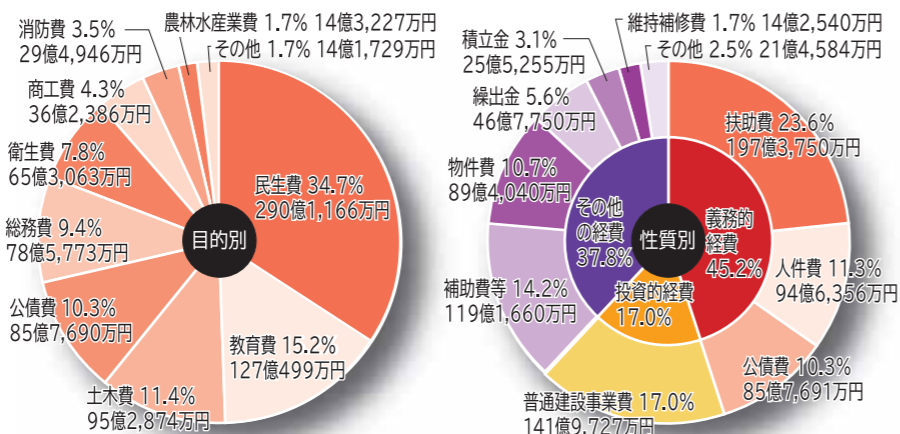
財政特集では、それぞれの平成25年度の決算状況および26年度の執行状況をお知らせします(図表の数値はすべて、1万円未満を四捨五入しているため、合計額が合わない項目があります)。

平成25年度 決算

歳入総額 851億6,388万円



歳出総額 836億3,353万円



一目で分かる 財政の基礎用語

- 【歳入】
 - 市税…市民税や固定資産税などの税金
 - 諸収入…給食費など収入のどの区分にも属さないお金
 - 繰入金…基金から一般会計に組み入れるお金
 - 使用料及び手数料…市の施設などの使用料や住民票などの手数料
 - 分担金及び負担金…特定の事業の経費に充てるための受益者などからのお金
 - 繰越金…前年度から持ち越したお金
 - 地方交付税…市の財政力に応じて国税の一部から交付されるお金
 - 国庫支出金…市の特定事業のために国から支出されるお金

- 市債…財務省や金融機関からの借入金
- 県支出金…市の特定事業のために県から支出されるお金
- 【歳出(性質別)】
 - 扶助費…保育所の運営や、生活に困っている人などへ支出する経費
 - 人件費…職員の給料や手当などの経費
 - 公債費…借入金の返済のための経費
 - 普通建設事業費…道路を造ったり、学校などの施設を建てたりする事業に要する経費
 - 補助費等…公益的な事業などに対する補助金や負担金など
 - 物件費…市の仕事に必要な消耗品や備品等に要する経費、委託料、光熱水費など
 - 繰入金…一般会計から特別会計などに支出する経費

- 【歳出(目的別)】
 - 民生費…子どもやお年寄り、障がい者への福祉などに要する経費
 - 教育費…小・中学校の教育施設や社会教育の推進などに要する経費
 - 土木費…雪対策や道路、まちづくりなどに要する経費
 - 公債費…借入金の返済に要する経費
 - 総務費…庁舎の管理、戸籍、徴税など、市役所を運営するための全般的な経費
 - 衛生費…健康診断や予防接種、ゴミの回収処理などに要する経費
 - 商工費…商業や工業の振興、公園の維持などに要する経費
 - 消防費…消防や防災などに要する経費
 - 農林水産業費…農産物の生産性向上や農村の整備などに要する経費

弘前さん一家の家計簿

市では、毎年財政状況についてお知らせしていますが、「用語が難しい」「ケタが大きすぎてイメージがわからない」などと言われることがあります。そこで、もっと分かりやすく、身近に感じてもらうために、平成25年度の一般会計決算(4ページに掲載)を一般家庭の家計簿に置き換えてみました。※家計簿の1万円が実際の1億円に当たります。()内は、実際の決算額です。



※一例として示しています。

収入 25年度一般会計の歳入を置き換えたものです。

- お父さんとお母さんが働いて稼いだお給料です。
- お兄さんは家計を助けるためにアルバイトをしています。
- おじいちゃん・おばあちゃんから援助してもらっています。
- 貯金を少し下ろしました。
- 車を購入するためにローンも…。
- 前の年の残りがありました。
- この年の収入は851万円でした。

項目	金額	決算上の区分
給与収入	201万円 (201億4,924万円)	市税
アルバイト収入	56万円 (55億7,550万円)	市税、繰入金および繰越金以外の自主財源
親からの援助	449万円 (448億9,053万円)	市債以外の依存財源
貯金取り崩し	16万円 (15億8,461万円)	繰入金
ローン	119万円 (119億4,960万円)	市債
繰越金	10万円 (10億1,440万円)	繰越金
合計	851万円 (851億6,388万円)	

支出 25年度一般会計の歳出(性質別)を置き換えたものです。

- 家族の食費。
- 病院代や薬代。これで元気回復!
- 水道・ガス、電気代など
- 専門学校の妹は東京で一人暮らし。仕送りをしました。
- 保険料、町会費などもかかります。
- ローンを組んでいるので、返済しなくっちゃ。
- 生活を便利にするため自家用車を購入。
- 将来のために、貯金もしました。

項目	金額	決算上の区分
食費	94万円 (94億6,356万円)	人件費
医療費	197万円 (197億3,750万円)	扶助費
光熱水費	89万円 (89億4,040万円)	物件費
仕送り	47万円 (46億7,750万円)	繰入金
保険料、町会費など	155万円 (154億8,784万円)	その他
ローン返済	86万円 (85億7,691万円)	公債費
自家用車の購入	142万円 (141億9,727万円)	普通建設事業費
貯金	26万円 (25億5,255万円)	積立金
合計	836万円 (836億3,353万円)	

このように、弘前さんの家庭では、家族で稼いだお金(市税、諸収入など)だけでは支出のすべてを賄うことができません。

そのため、親からの援助(地方交付税など)や借金(市債)がどうしても必要な状況にあるのです。